

◎平成28年度予算がまとまりました

過重な 納付金負担によって、 今年度も 赤字予算編成に

去る2月25日に開催された第107回組合会において、平成28年度の予算が可決・承認されましたので、お知らせいたします。

28年度も厳しい財政状況、
約9千万円の赤字見込み

高齢者医療制度への過重な納付金負担に加え、現在の日本では、円高、世界的株安など経済の停滞が懸念されており、景気動向の影響を受けやすい健保組合の財政は、ますます先行き不透明な状況に置かれています。

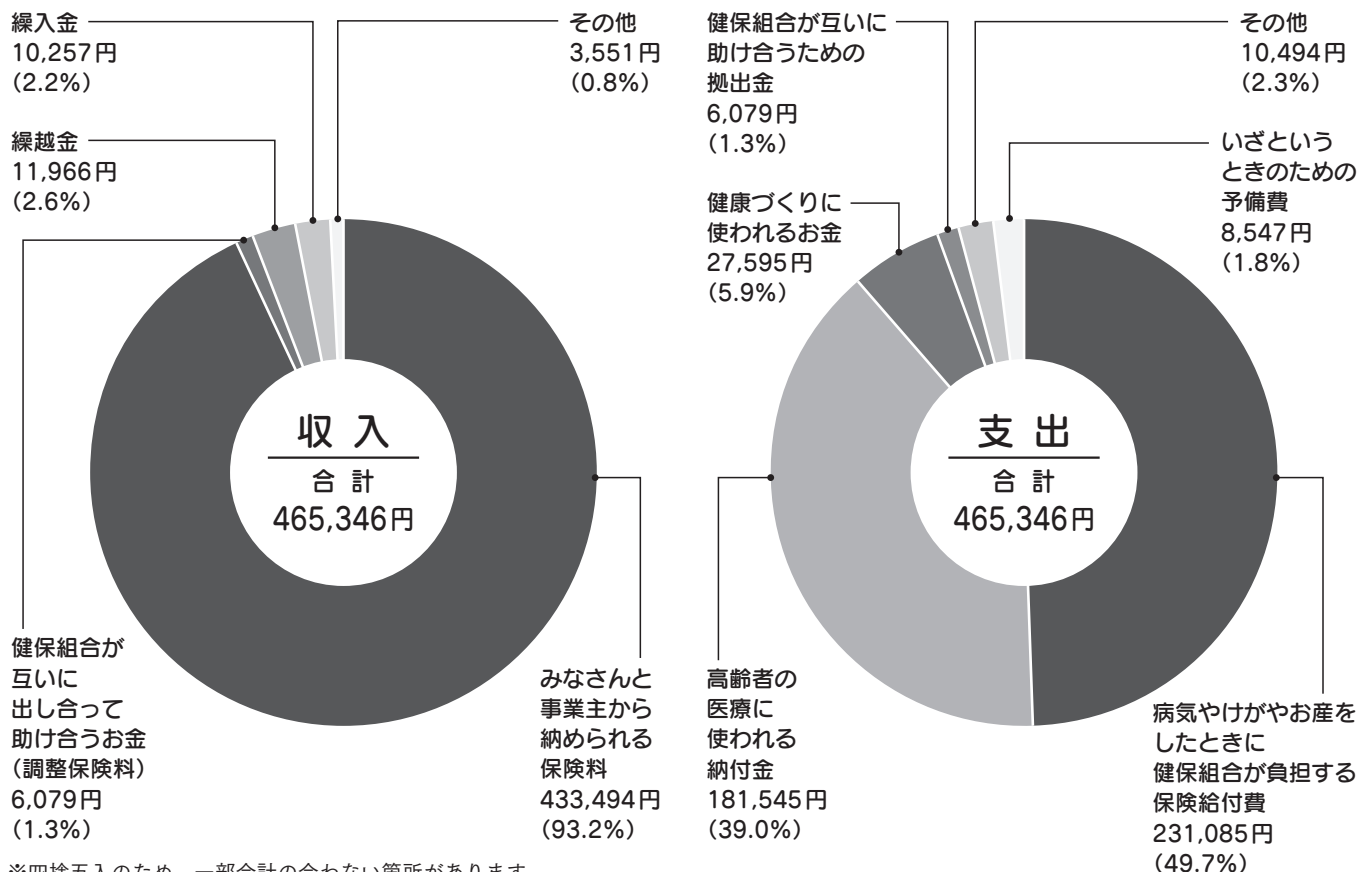
こうしたことを背景に、当健保組合は平成28年度の予算編成を行い、総額27億2,228万円を計上しました。しかし、経常収入では25億4,175万円、

経常支出は26億3,599万円となり、実質的な収支では9,424万円の赤字を見込むことになりました。

納付金は前年度より大幅減少
しかし依然として重い負担に

収入では、みなさんと事業主から納めていただく保険料収入を前年度比575.1万円減少の25億3,594万円としています。今年度の保険料率についてはみなさんの負担を抑えるために、前年度と同じ千分の94としています。が、保険料収入だけでは支出をまかな

被保険者1人当たりでみた収支予算(健康保険)



《平成28年度収支予算概要》

健康保険

【収入】

科 目	予算額(千円)
みなさんと事業主から納められる保険料	2,535,938
健保組合が互いに出し合って助け合うお金 (調整保険料)	35,564
繰 越 金	70,000
繰 入 金	60,001
そ の 他	20,774
合 計	2,722,277

【支出】

科 目	予算額(千円)
病気やけがやお産をしたときに 健保組合が負担する保険給付費	1,351,848
高齢者の医療に使われる納付金	1,062,038
健康づくりに使われるお金	161,432
健保組合が互いに助け合うための拠出金	35,564
そ の 他	61,395
いざというときのための予備費	50,000
合 計	2,722,277

介護保険

【収入】

科 目	予算額(千円)
みなさん*と事業主から 納められる介護保険料	272,260
繰 越 金 等	7,565
合 計	279,825

【支出】

科 目	予算額(千円)
国に納める介護納付金	276,829
介護保険料還付金・積立金等	266
予 備 費	2,730
合 計	279,825

※介護保険第2号被保険者たる被保険者等

えないことから、積立金からの繰り入れ6000万円などで不足分に対応します。

支出においては、みなさんの医療費や各種給付金として使われる保険給付費について、同比1429万円の減少の13億5185万円を見込んでいます。

高齢者医療制度への納付金は、同比1億8593万円減少の10億6204万円となります。前年度より納付金額が大幅に減ったとはいえ、保険料収

入に占める割合でみると4割以上となり、依然として重すぎる負担となっています。

このほか、みなさんの健康づくりのための保健事業費は、前年度より1739万円増の1億6143万円を見込んでおり、28年度も各種健診事業や契約保養所の利用補助など、みなさんの健康づくりに役立つ事業を実施していく予定です。

以上のことから、当健保組合を取り

介護保険料率は 千分の16へ引き上げ

28年度の介護保険については、総額

巻く情勢は依然として厳しいものの、財政健全化に向け積極的に取り組んでいくとともに、みなさんへの健康づくりは引き続き行なってまいります。みなさんも日ごろから健康づくりを心がけ、医療費節減にご協力ください。よう、お願いいたします。

で2億7983万円を見込んでいます。当健保組合が国に納める介護納付金は2億7683万円となり、これをもとに算出した介護保険料率は、前年度より千分の1引き上げ、千分の16（事業主・被保険者折半負担）となりました。介護保険料収入は2億7226万円を見込んでいます。